

2020年度事業報告

- I. 会 員 数 2020年3月31日 5, 118名 (2019年度新入会員数142名)
(正会員5,024名(内, 終身会員691名), 名誉会員94名, 及び賛助会員23団体)
2021年3月31日 5, 039名 (2020年度新入会員数140名)
(正会員4,955名(内: 終身会員712名), 名誉会員84名, 及び賛助会員22団体)

II. 学術的会合

新型コロナウイルス感染症拡大により, 開催方法を変更, あるいは開催を延期しました.

1. 2020年度年会
3月16日(月)~3月19日(木) 日本大学理工学部 (オンライン開催)
2. 2020年度秋季総合分科会
9月22日(火)~9月25日(金) 熊本大学 (オンライン開催)
3. 第25回高木レクチャー
6月21日(日) 京都大学数理解析研究所 (2021年度に延期)
4. 2020年度日本数学会季期研究所(第13回MSJ-SI)
3月2日(火)~3月13日(土) 大阪市立大学 (2021年度に延期)

III. 出 版

1. 欧文誌 (1) *Journal of the Mathematical Society of Japan*
Vol. 72 No. 2 2020年4月刊行 Vol. 72 No. 3 2020年7月刊行
Vol. 72 No. 4 2020年10月刊行 Vol. 73 No. 1 2021年1月刊行
(2) *Japanese Journal of Mathematics, third series*
Vol. 15 No. 1 2020年2月刊行 Vol. 15 No. 2 2020年6月刊行
2. 邦文誌 (1) 数 学
第72巻2号 2020年4月刊行 第72巻3号 2020年7月刊行
第72巻4号 2020年10月刊行 第73巻1号 2021年1月刊行
(2) 数学通信
第25巻1号 2020年5月刊行 第25巻2号 2020年8月刊行
第25巻3号 2020年11月刊行 第25巻4号 2021年2月刊行
3. *Advanced Studies in Pure Mathematics*
Vol. 85 2020年12月刊行 Vol. 86 2020年12月刊行
4. *MSJ Memoirs*・数学メモアール
刊行なし

IV. 顕 彰

1. 日本数学会賞春季賞・秋季賞
重要な研究成果をあげた40歳未満の数学者を顕彰する春季賞を1名に, また過去5年以内に特に優れた業績をあげた数学者を顕彰する秋季賞を1名に授与しました.

2. 日本数学会賞建部賢弘特別賞・奨励賞
若くして特に優秀な業績をあげた数学者を顕彰する特別賞を3名に、また極めて若くして優れた業績をあげた数学者を顕彰する奨励賞を6名に授与しました。
3. 日本数学会出版賞
著作活動により数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた個人または団体、もしくは著作物を顕彰する出版賞を、著者1名および著作物2点に授与しました。
4. JMSJ 論文賞
2019年の「Journal of the Mathematical Society of Japan」に掲載された論文のうち、特に優れた2編の著者に授与しました。
5. 日本数学会解析学賞
解析学の発展に貢献した数学者を顕彰する解析学賞を3名に授与しました。
6. 日本数学会幾何学賞
幾何学の発展に貢献した数学者を顕彰する幾何学賞を1名に授与しました。
7. 日本数学会代数学賞
代数学の発展に貢献した数学者を顕彰する代数学賞を2名に授与しました。
8. 日本数学会応用数学研究奨励賞
応用数学分野において優れた業績をあげた若手研究者を顕彰する応用数学研究奨励賞を3名に授与しました。

V. 研究奨励

1. 加藤敏夫フェロー
新型コロナウイルス感染症拡大により、東南アジア在住の若手数学研究者の育成を目的とする本事業の2021年度に延期しました。
2. 日本数学会奨励研究生
厳しい研究環境の下で主体的に研究を進める若手数学研究者を奨励することを目的として、学位（博士）取得後3年以内の有望研究者6名を第2回奨励研究生として採用しました。

VI. 国際交流

1. アジアの数学会との交流
新型コロナウイルス感染症拡大により、大韓数学会及び台湾数学会との交流事業の実施を2021年度に延期しました。
2. アフリカ数理科学研究所（AIMS）との交流事業
当会とAIMSが締結した覚書に基づき、3週間にわたりオンラインによる講義を実施しました。
3. CDC 援助
IMUの下部機関であるCDC（発展途上国の数学活動を支援する組織）に対して、例年通り15万円を拠出しました。

4. Oberwolfach 研究所機関会員

同研究所の財政を支援する組織 (Verein zur Förderung) の機関会員として、年会費 500 ユーロを拠出しました。

5. 日米数学研究所 (JAMI) 援助寄付金

同研究所を援助するため 10 万円を拠出しました。

6. ICIAM

会員として年会費 400 US ドルを拠出しました。

VII. 社会連携

1. 市民講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止しました。

2. 博士課程の学生を中心としたキャリアパス支援構築を目的とし、「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会 2020」(2020 年 10 月 31 日) をオンラインにより開催しました。

3. 数学「ジャーナリスト・イン・レジデンス」(JIR)プログラムへの支援を行いました。

4. 「女子中高生夏の学校」においてオンラインによりポスター展示を行いました。

2020年度事業報告附属明細書

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。